

腰椎麻酔で予定帝王切開を受けられる方へ

項目	入院当日（治療前日） 月 日	治療当日		治療1日後 月 日	治療2日後 月 日	治療3日後 月 日	治療4日後 月 日	治療5日後 月 日	治療6日後 月 日	治療7日後（退院日） 月 日	
		術前	術後								
達成	予定帝王切開を受ける（必要性がある）準備が整っている		術後合併症なく経過できる育児の習得ができる								
治療処置薬剤	除毛（臍～恥骨まで）をします 手術に必要なもの（前開きの服・産褥パット・Lパット）を準備します	弾カストッキングをはきます	血栓予防のために足にエアーマッサージ器をつけます お乳の手入れを始めます	エアーマッサージ機を外します			内診があります 創部のテープを張り替えます 				
		水分と栄養補給のため点滴があります 		手術後、排ガスが出ていなければ下剤を内服します	手術後便が出ていなければ眠前に下剤を内服します 	手術後排便がなければ洗腸をします	元気になれば退院することができます				
検査	NSTモニターをつけます 適宜します	NSTモニターをつけます		血液検査があります 							
栄養食事	産科食または指示食 	0時以降は絶食です手術の3時間前まで飲水できます それ以降で喉が渇く場合はうがいで済みます	術後、3時間たって麻酔が覚めていれば飲水できます	朝食から産科食または指示食 			術後4日目の夕食はお祝い膳がです。				
安静度リハビリ	病棟内は自由に歩けます		膝が曲がるようになれば横向きになります 	歩きましょう	院内は自由に歩けます 						
清潔	除毛・臍処置の後シャワーができます	朝は洗面ができます		洗面のお手伝いをします 体拭きの手伝いをします 	自分で体を拭きましょう 体調が良ければシャワー浴も可能です 						
排泄			尿管が入ります	尿管を抜きます							
教育説明指導	病棟を案内します パスシートに沿って手術前後の経過について説明します ネームバンドに名前を記入してください 先天代謝異常検査申し込み用紙を提出して下さい 手術同意書を確認します	指輪・腕時計・ヘアピン・コンタクトレンズ・義歯・アクセサリは外し、化粧はしないでください 髪が肩より長い方は横で束ねてください	麻酔が覚めれば積極的に体を動かしていきましょう 赤ちゃんの耳の検査（a-ABR）の対象の方は同意書を作成します	車椅子に乗って赤ちゃんの面会にいきましょう（母児同室でない場合） 臍箱がお手元にあるか確認します	排泄後は陰部を清潔にしましょう	赤ちゃんの状態が落ち着いており、お母さんの状態が落ち着けば授乳が始まります 授乳は自律授乳あるいは母児同室でない場合3時間毎授乳です ※授乳の開始はスタッフがお知らせします 授乳がお休みの時は乳房のお手入れをしておきましょう   母児同室でない場合は、GCU、NICUで赤ちゃんに面会できます（時間はNICU・GCUに確認してください） ※感染症対策のために、面会者、面会方法に制限があります					
			母児同室の方は、毎朝8時に小児科医師の診察があります	赤ちゃんがケイツーシロップを飲みます	希望の方には入院中に、赤ちゃんの耳の検査（a-ABR）があります	赤ちゃんがケイツーシロップを飲みます 赤ちゃんの血液検査があります	退院までに産後の生活について説明を聞きましょう すすすすくを見ていきましょう		退院時、書類を渡します 診断書、入院証明書の必要な方は申し出てください		
											薬剤師からケイツーシロップをお渡しします

注1. 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わり得るものである。
注2. 入院期間については現時点で予想されるものである。